

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成28年2月8日
主管学校名	岩手大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	佐々木美希

実施概要	主管校	岩手大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	岩手大学教育学部附属幼稚園 岩手大学教育学部附属小学校 岩手大学教育学部中学校
	実施活動名	岩手大学教育学部附属四校園連携事業10周年記念講演会
	実施日時	平成27年9月10日(木)
	実施場所	いわて県民情報交流センター アイーナホール
	実施目的	四校園保護者の交流を深める。
	実施内容	子育てについての後援会開催
	実施方法	はなまる学習会 箕浦 健治 氏による後援会
	参加人数	137名

報告事項	内容	<p>平成27年9月10日(木)、盛岡駅に近い「いわて県民情報交流センター アイーナホール」を会場に岩手大学教育学部附属四校園保護者を対象に、箕輪健治 氏の「いきるちから ーもめごとはこやしー」を演題に講演会を聴講しました。</p> <p>会場にてアンケート用紙を配付し、終了後回収しています。</p> <p>岩手大学教育学部附属四校園では、以前より交流が行われていましたが、附属四校園PTA連絡協議会として連携共同事業を始めて10年となりました。そこで、「岩手大学教育学部附属四校園連携共同事業10周年記念講演会」を企画し実施いたしました。</p> <p>企画については、四校園の役員がメンバーの連携協議会で話し合い決定し、幹事校の附属特別支援学校が準備を進めてきました。当日の運営については四校園で協力して行いました。</p>
	結果	<p>参加者137名の講演会となりました。</p> <p>講演講師の箕浦健治氏から、子育てにあたる保護者として心掛けたいことの講話を受け、これまでの子育てを振り返り、考えを新たにしてこれからの子育てに希望をもって進もうとする多くの感想が寄せられました。</p> <p>運営に四校園のPTA会長、副会長を中心に、多くの保護者が運営に関わって活動し四校園のつながりを深めることができました。</p>
	所感	<p>校種にこだわらず、子育て中の保護者として共通した内容の講演会を実施できたことはよかったです。また、連携共同事業が始まって10年目の節目に記念する事業を行うことができたことで、四校園のつながりをこれまで以上に意識することができたみなさんが多かったと思いますし、これからもこの事業を大切に継続していくものであることを感じてくださったみなさんが多くいらしたと思います。</p>

添付書類	
------	--



カンガルーシップ活動

共生プロジェクト参加感想

提出日 平成27年2月8日

学校名 岩手大学教育学部附属特別支援学校

- 自己肯定感を高めて、主体的に生きていって欲しいと常々思っていますが、そのことが 自分の力=魅力ある人になれることだと確信することができました。4歳9歳の大事な時期は過ぎてしまいましたが迷ったときには母の直感。とても心に響き救われた思いです。
- 今日はこのような機会がありたくさん得るものがあったことに変感謝しております。小5の息子が「どうせぼくなんか」ということをよく言っております。下の子がいるからだということを変えて認識して今日から声掛けをしていこうと思います。また、あたりまえにしていることで褒めることがたくさんある子どもたちにもっともっと声を掛けてあげようと思います。ありがとうございます。
- 息子は中2で一人っ子ですが、今日の講演をもっと早い時期（幼児期）に聞きたかったなあ、と思いました。4歳の頃に風呂掃除をしたり、みんなの靴を揃えたり、ごみ出しを手伝ってくれた息子はどこへ行ったのか・そういえばいつの間にか私も褒めることが少なくなっていたなと反省しました。寝る時間もいつもなんとなく遅くなってきて、約束した時間を親子で守らず「ぶれていたな」と思います。いろいろと気付かせていただき、今日の講演を聴けて良かったです。ありがとうございます。
- 家庭の中での母の一言（父へのためだし）、子どもは見聞きしていることはもちろん父母の役割に改めて改心したところです。一番親がぶれないことを目標に子どもと向き合う目をもっていきたいと思いました。
- 教育に関する本を沢山読みましたが、どれも追い詰められる気持ちになるものばかりでした。母として落ち込むばかり。先生のお話を聞いて、3人の子どもの長女のとても心配していましたが本当に安心しました。今日から10歳になった長女にこれまでの良い働き掛けの部分、改善すべき点、さりげなく取り入れていきたいなと思っています。子育てで疲れ切っていますが、太陽になりたいなと思いました。
- 本日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。6歳9歳の二人の息子をもっているのが本当にピンポイントな時期にお話が聞けて感謝しています。改めて夫婦できちんと話し合い励まして明るく接する！！という我が家の方針に間違いなし！と確信しました。今後も親としてぶれずに二人の息子を見守っていききたいと思います。
- 本日はこのような機会に参加することができて本当によかったです。先生のお話へ何度も涙が出ました。特に子どもがどんなに親の愛情を信じ親をがっかりさせたくないかエピソードを通じて痛いほど伝わってきました。親も子どもに対し勝手な愛を押しつけるだけでなく、ときには見守り口を出さないことも大切だと学びました。私は、思い返せばけっこうマイナスの言葉も掛けていることにも気付くことができました。まずは、私からプラスの言葉を使い、プラスオーラを家庭に充満させられるよう、子どもたちもプラス思考になれるように頑張りたいと思います。このたび尽力くださった皆様ありがとうございました。
- 「もめごと」は避けたいと考えているところに「もめごとはこやし」生きていくためには避けられないものだと、でもそれが生きていく力になるのだと分かりました。一人っ子なので主人や私がいなくなっても生きていく力をもつ子どもになるよう、見守って寄り添っていききたいと思います。
- 笑いながらのとても楽しくて頷くばかりの講演でした。子どもに対する自分の在り方を反省したり考えさせられました。「子どもの自信は大人の言葉で刻まれる」ととても心に残りました。プラス思考の言葉をどんどん掛けていきたいと思います。
- 事例で分かりやすく心当たりが沢山ありました。プラス思考で、子どもの太陽でありたいと思いました。噂話しや子育て本もいいけれど、お母さんの直感を大切にしていきたいです。親が入り込まず、本人に解決を見守って、愛を注いでいきたいです。ありがとうございました。
- 今日は日頃、自分が悩んでいたことや迷っていたことなど、先生の実例や考えをとおしてヒントを得ることができ前向きに考えられるようになりました。早速、自分の子育て、子どもへの対応など見直したいです。夫や家族と共有してプラス思考で頑張りたいです。
- 沢山の具体例を聞かせていただけて、親子の関係を改めて見直すきっかけになりました。ついつい子どもには口を出したり、手助けしたり、やってしまいます。自分でできないでしょ。と思っていたし、子どもにも言っていたと思います。でも、子どもになるべくやらせたり、考えさせないと生きる力を育てられないなと感じました。家には、男の子の子がいるのですが、それぞれ接し方を変えないといけなことも気付かされました。長女には、先生のお話とは逆に後回しにしたり、我慢をさせていたことも気付いてはとしました。もうちょっと接し方を考えて肯定感をもってもらえる育てたいと思います。今日はお話を聞けて本当によかったです。ありがとうございました。
- このたびの講演、大変ありがとうございましたあつという間に時間が過ぎてしまい、もっと聞きたい気持ちでいっぱいでした。母の直感を信じる手、家庭でどのような関係を築いていったらよいかなどたくさん子育てのアドバイスをいただきました。子育てしながら迷うことばかりですが、親もぶれないように頑張りたいです。大変ありがとうございました。